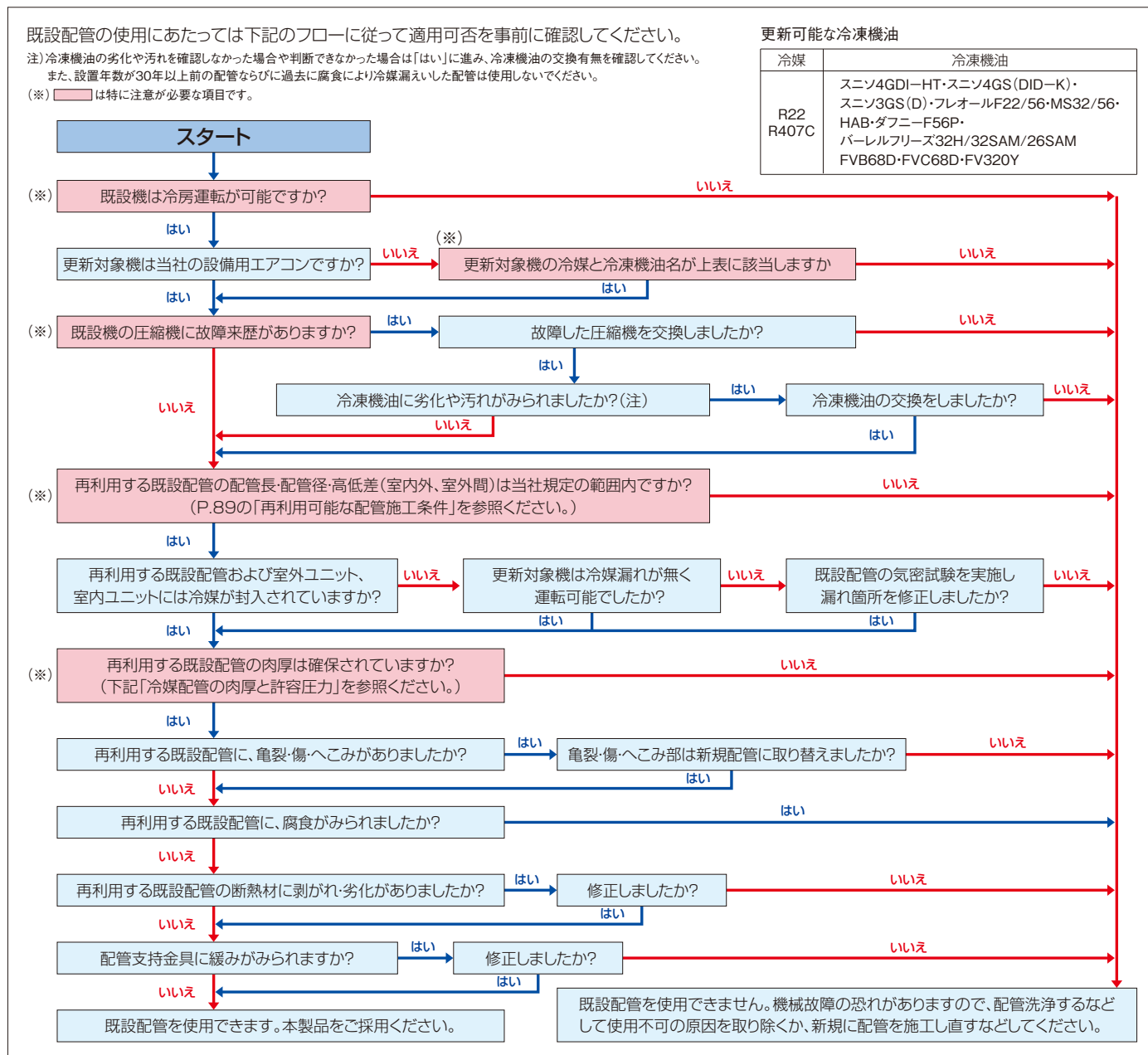


●対象機種：RP-AP140～800RHV(G)P(1)(2)・RP-AP140～800RKV(G)P(1) EP-AP140～560HV(G)P(1)・EP-AP140～560KV(G)P(1)

■既設配管の使用可否判断フロー



■冷媒配管用銅管の肉厚と許容圧力

表記 部のように、配管の肉厚・直径・材質が許容圧力3.6MPa以上(AP140～280型は3.5Mpa以上)を有するものであることを確認してください。満足しない場合は交換が必要です。なお、配管の傷・へこみ・腐食・断熱材の剥がれ・劣化が無いことなど、「既設配管の使用可否判断フロー」に従って必ず確認してください。

銅管外径 (mm)	R22						R407C			R410A		
	銅管肉厚 (mm)	銅管材質	許容圧力 (MPa)	銅管肉厚 (mm)	銅管材質	許容圧力 (MPa)	銅管肉厚 (mm)	銅管材質	許容圧力 (MPa)	銅管肉厚 (mm)	銅管材質	許容圧力 (MPa)
φ9.52	0.8	O材	5.945	—	—	—	0.8	O材	5.945	0.8	O材	5.945
φ12.7	0.8	O材	4.378	—	—	—	0.8	O材	4.378	0.8	O材	4.378
φ15.88	1.0	O材	4.376	—	—	—	1.0	O材	4.376	1.0	O材	4.376
φ19.05	1.0	O材	3.616	—	—	—	1.0	O材	3.616	1.0	1/2H材	6.684
φ22.2	1.2	O材	(3.725)	—	—	—	1.15	O材	3.563	1.0	1/2H材	5.695
φ25.4	1.2	O材	(3.240)	1.0	1/2H材	4.959	1.0	1/2H材	4.959	1.0	1/2H材	4.959
φ28.58	1.4	O材	(3.364)	1.0	1/2H材	4.391	1.0	1/2H材	4.391	1.0	1/2H材	4.391
φ31.75	1.4	O材	(3.016)	1.2	1/2H材	(4.754)	1.1	1/2H材	4.347	1.1	1/2H材	4.347
φ38.1	1.65	O材	(2.960)	1.3	1/2H材	(4.279)	1.15	1/2H材	3.773	1.35	1/2H材	(4.448)

注) 許容圧力はJIS B 8607による。()内は表記の数値にてJIS同様に計算した値を示します。

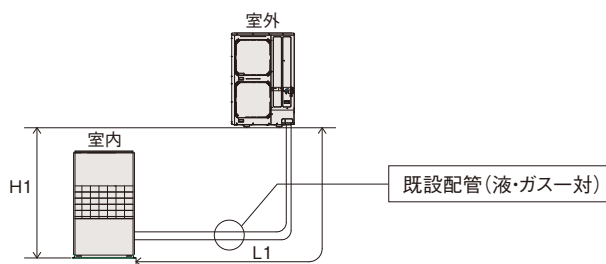
■再利用可能な配管施工条件

1. 既設配管を再利用する場合の配管施工条件を下記に示します。

●冷媒配管施工条件

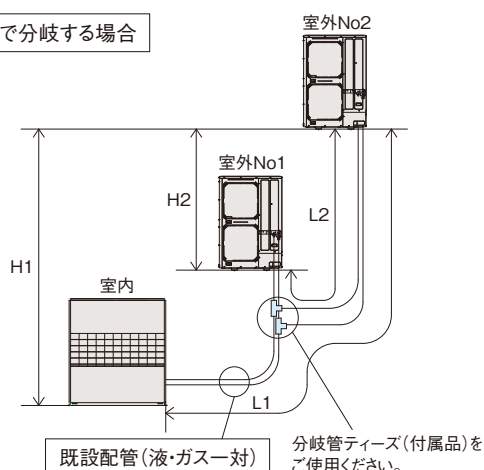
項目		許容範囲
配管実長	室内／室外間:L1	下図および次の2項をご参照ください。
	室外間:L2	5m以内
高低差	室内／室外間:H1	40/30m(室外上/下)
	室外間:H2	2m以内

① 140～280型の場合



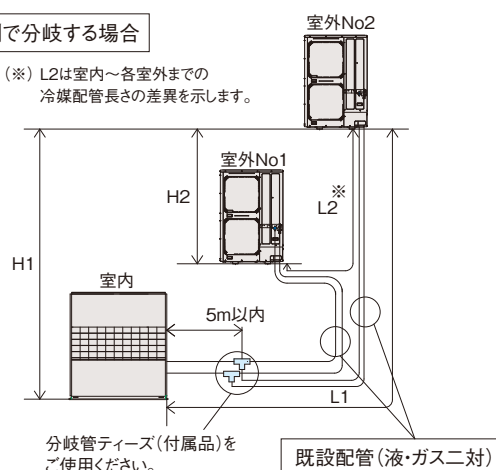
② 450～630型の場合

標準: 室外側で分岐する場合



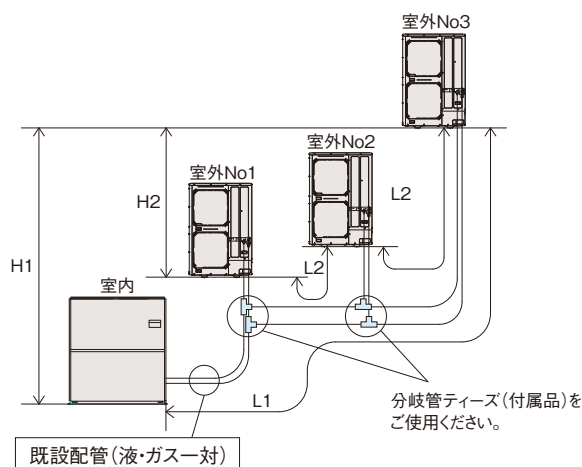
室内側で分岐する場合

(※) L2は室内～各室外までの
冷媒配管長さの差異を示します。



③ 800型の場合

室外側で分岐する場合のみ可



共通注記

1. フレア接続部がある場合はJIS B 8607の第2種に適合するよう管端の再加工およびフレアナットの交換を行ってください。
2. 標準配管サイズとは異なる既設配管を再利用する場合は異径ソケット(現地準備品)を使用し接続してください。
3. 450型以上の場合は異径ソケット(共通注記2)の他に複数の室外ユニット間を接続する配管(いずれも現地準備品)が液管・ガス管の各々に必要となります。
付属品の詳細は「据付点検要領書」を参照してください。

2. 既設配管径の組み合わせごとの許容配管長さ（m）とチャージレス配管長さを下表に示します。表中「-」の配管径の組み合わせは使用できません。
 なお、表中の配管本数「×1」は標準（室外側で分岐する場合）を、また、「×2」は室内側で分岐する場合を示します（室内側分岐は450～630型のみ可）。

●許容配管実長(m)【()はチャージレス配管長さを示す】 【は標準配管サイズ時(最長70m)を示す】

機種 (室内ユニット型式)	液管 (径×本数)		分岐 方式	ガス管 (径×本数)																冷媒追加 封入量 (kg/m)
				φ15.88		φ19.05(注2)		φ22.2(注2)		φ25.4		φ28.58		φ31.75		φ38.1		φ44.45(注2)		
				×1	×2	×1	×2	×1	×2	×1	×2	×1	×2	×1	×2	×1	×2	×1	×2	
RP-AP140HVGVP	φ9.52	×1	－	70(60)	－	70(60)	－	70(60)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.07
	φ12.7	×1	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.09
RP-AP140KVGP	φ9.52	×1	－	70(60)	－	70(60)	－	70(60)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.07
	φ12.7	×1	－	70(35)	－	100(35)	－	100(35)	－	100(35)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.09
RP-AP224HVGVP	φ12.7	×1	－	－	－	70(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	－	－	－	－	－	－	0.09
RP-AP224KVGP	φ15.88	×1	－	－	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	－	－	－	－	－	－	0.15
RP-AP280HVGVP	φ12.7	×1	－	－	－	70(56)	－	70(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	－	－	－	－	0.09
RP-AP280KVGP	φ15.88	×1	－	－	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	－	－	－	－	0.15
RP-AP450HVP1 RP-AP450KVP1	φ12.7	×1	室外	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		×2	室内	－	－	－	70(28)	－	70(28)	－	70(28)	－	70(28)	－	70(28)	－	－	－	－	0.18
	φ15.88	×1	室外	－	－	50(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	100(35)	－	－	－	－	－	0.15
		×2	室内	－	－	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	－	－	－	－	－	0.30
RP-AP560HVP1 RP-AP560KVP1	φ15.88	×1	室外	－	－	－	－	50(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	100(35)	－	－	－	0.15
×2		室内	－	－	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	－	－	－	0.30	
RP-AP630HVP1 RP-AP630KVP1	φ15.88	×1	室外	－	－	－	－	－	－	35(35)	－	50(35)	－	70(35)	－	100(35)	－	－	－	0.15
		×2	室内	－	－	－	－	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	－	0.30
	φ19.05 (注2)	×1	室外	－	－	－	－	－	－	50(23)	－	70(23)	－	70(23)	－	70(23)	－	－	－	0.22
		×2	室内	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RP-AP800HVP1 RP-AP800KVP1	φ15.88	×1	室外	－	－	－	－	－	－	20(20)	－	20(20)	－	50(35)	－	50(35)	－	－	－	0.15
		×2	室内	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	φ19.05 (注2)	×1	室外	－	－	－	－	－	－	20(20)	－	35(35)	－	50(35)	－	70(35)	－	100(35)	－	0.22
		×2	室内	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
EP-AP140HVGVP	φ9.52	×1	－	70(60)	－	70(60)	－	70(60)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.07
	φ12.7	×1	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.09
EP-AP140KVGP	φ9.52	×1	－	70(60)	－	70(60)	－	70(60)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.07
	φ12.7	×1	－	70(35)	－	100(35)	－	100(35)	－	100(35)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.09
EP-AP224HVGVP	φ12.7	×1	－	－	－	70(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	－	－	－	－	－	－	0.09
EP-AP224KVGP	φ15.88	×1	－	－	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	－	－	－	－	－	－	0.15
EP-AP280HVGVP	φ12.7	×1	－	－	－	70(56)	－	70(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	100(56)	－	－	－	－	－	0.09
EP-AP280KVGP	φ15.88	×1	－	－	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	－	－	－	－	0.15
EP-AP450HVP1 EP-AP450KVP1	φ12.7	×1	室外	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		×2	室内	－	－	－	70(28)	－	70(28)	－	70(28)	－	70(28)	－	70(28)	－	－	－	－	0.18
	φ15.88	×1	室外	－	－	50(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	100(35)	－	－	－	－	－	0.15
		×2	室内	－	－	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	－	－	－	－	－	0.30
EP-AP560HVP1 EP-AP560KVP1	φ15.88	×1	室外	－	－	－	－	50(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	70(35)	－	100(35)	－	－	－	0.15
×2		室内	－	－	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	50(17)	－	－	－	－	0.30	

注) 1. 配管相当長は上表の許容配管実長+20m以下としてください。
 2. 既設のR22用の冷媒配管(φ19.05・φ22.2・φ44.45)を再使用する場合は室内プリント基板のジャンパー線(JP1)を切断し、デバッグスイッチ(DSW4-1番ピンON)の設定変更が必要です。
 これにより高圧遮断装置の設定圧力が4.15MPa(R410A配管用)から3.60MPa(R22配管用)に変更されます。
 なお、これ以外の既設配管で許容圧力が4.15MPa以上のものを使用される場合は設定を変更する必要はありません。
 3. 冷媒配管長さがチャージレス配管長さを超える場合は表中の冷媒追加封入量に従い冷媒を追加してください。
 ・冷媒追加封入量=(配管実長L1-チャージレス配管長さ)×冷媒追加封入量(kg/m)

〈室内ユニット型式 RP-AP450HVP1の場合〉
 ①標準(室外側で分岐する場合)
 配管径(液/ガス):φ15.88/φ28.58
 配管実長L1 :40m
 ・冷媒追加封入量=(40-35)×0.15kg/m
 ≒0.8kg
 ②室内側で分岐する場合
 配管径(液/ガス):φ12.7×2/φ19.05×2
 配管実長L1 :50m
 ・冷媒追加封入量=(50-28)×0.18kg/m
 ≒4.0kg